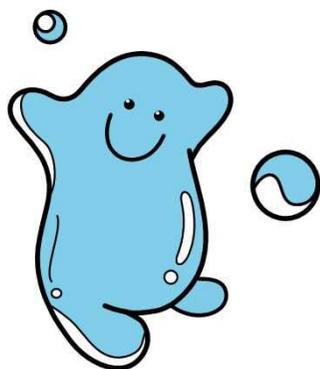


令和2年度 決算の概要



ウォッピー

札幌市水道局公式キャラクター

令和4年（2022年）1月18日
札幌市水道局

1 収益的収支～1年間の経営成績

- 収益的収支は、1年間の企業の経営活動に伴い発生する「収益」と「費用」からなり、企業の経営成績を表すもの。
- 主に、収入の大部分を占める給水収益と、施設の運転やその管理費など、事業を運営するための費用である運営管理費等からなる。
- 令和2年度決算の収支差引は109億円の黒字（消費税抜の純利益は94億円）となった。

（消費税込、単位：億円）

区 分	予算 ①	決算 ②	増減 ③=②-①	増減率 ④=(③/①)×100	備 考
収益的収入 A	460	460	0	0.1%	
営業 収益					
うち給水収益	414	412	▲ 2	▲ 0.6%	
収益的支出 B	369	350	▲ 18	▲ 5.0%	
営業 費用					
うち運営管理費	174	160	▲ 15	▲ 8.5%	委託料や請負工事費の減
うち減価償却費等	133	133	0	0.0%	
営業外費用	24	24	0	0.0%	
差 引 A - B	91	109	19	20.6%	消費税抜の純利益は94億円

※各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

※予算は現計予算（当初予算額に流用増減等を加味した額）である。

2 資本的収支～施設の建設、改良等の事業費とその財源

- 資本的収支は公営企業の将来の経営活動に備えて行う施設の建設・改良等の事業費や、建設改良に係る企業債償還金などの支出及びその財源となる企業債等の収入からなり、収支差引は200億円の収支不足となった。
- 水道事業においては、高水準の建設事業費に対し、確保できる財源は限られているため、資本的収支は不足することが一般的である。

(消費税込、単位：億円)

区 分	予算 ①	決算 ②	増減 ③=②-①	増減率 ④=(③/①)×100	備 考
資本的支出 C	262	237	▲ 25	▲ 9.7%	
うち建設改良費	194	169	▲ 24	▲ 12.5%	請負工事費等の減
うち企業債償還金	66	65	▲ 0	▲0.7%	
資本的収入 D	67	37	▲ 30	▲ 44.8%	
うち企業債借入	50	20	▲ 30	▲ 60.0%	企業債借入の抑制による減
差 引 D－C	▲ 195	▲ 200	▲ 5	▲ 2.3%	

※各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

注) 建設改良費の不用額24億円のうち、3億円は令和3年度へ繰越を行っている。

参考 令和2年度末の企業債未償還残高は602億円
企業債未償還残高のピークは平成12年度末の2,013億円である。

3 資金残高

- 企業会計では、資本的収支で生じた不足額(2頁参照)について、毎年度の利益や企業内部に留保される資金等で補てんすることとされている。
- 令和2年度末の資金残高は、資本的収支の差引▲200億円に、収益的収支の差引109億円、当年度分損益勘定留保資金106億円及び過年度分内部留保資金153億円を加えた結果169億円となった。

(消費税込、単位:億円)

区 分	予算 ①	決算 ②	増減 ③=②-①	増減率 ④=(③/①)×100	備 考
当年度資金収支 E	0	16	16	-	
資本的収支差引	▲ 195	▲ 200	▲ 5	▲ 2.3%	設備投資とその財源に関する収支
収益的収支差引	91	109	19	20.6%	水道事業の運営に関する収支
当年度分 損益勘定留保資金等	104	106	2	1.6%	減価償却費等の非現金支出費用による内部留保資金(注1)
過年度分内部留保資金 F	153	153	0	0.0%	過年度から繰り越された資金
合計(資金残高) E+F	153	169	16	10.4%	(注2)

※各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

注1) 減価償却費は、時間の経過による固定資産の価値の減少を費用として計上するものであるが、実際に現金の支出を伴う費用ではないため、企業内部に資金が留保される。

その内部留保資金により、資本的収支の不足分を補てんしている。

注2) 令和2年度末の資金残169億円のうち、96億円は水道施設更新積立金として積立てている。

残りの73億円は、翌年度以降の建設改良費の財源として活用する。

4 業務量

区 分		2年度決算 A	元年度決算 B	比 較	
				増減△ A-B=C	増減△ (%) C / B
人 口 等	給水区域内人口 (人)	1,967,344	1,964,436	2,908	0.1
	給水人口 (人)	1,965,831	1,962,819	3,012	0.2
	普及率 (%)	99.9	99.9	0.0	—
水 量 等	年間配水量 (m ³)	192,708,290	191,113,710	1,594,580	0.8
	1日平均配水量 (m ³)	527,968	522,169	5,799	1.1
	年間有収水量 (m ³)	180,293,227	177,564,967	2,728,260	1.5
	有収率 (%)	93.6	92.9	0.7	—
年度末給水件数 (件)		887,073	877,696	9,377	1.1
年度末配水管布設延長 (m)		6,059,276	6,043,271	16,005	0.3

注) 人口は10月1日時点のものである。

5 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
1 水源の分散配置と水質の安全性の向上	○豊平川水道水源水質保全事業	1,947
	○石狩西部広域水道企業団への参画	654
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	○白川浄水場改修事業	82
	○西野浄水場等耐震化事業	505
	○配水管更新事業(第1期)	6,719
	○配水幹線連続耐震化事業	2,429
	○災害時重要管路耐震化事業	767
	○緊急遮断弁整備事業(里塚配水池)	29
3 利用者とのコミュニケーションの充実	○業務継続性の確保(水道局庁舎、白川浄水場)	120
	○無線式メーターの設置地域の拡大(清田区、南区の満期分)	193
4 経営基盤の強化と連携の推進	○札幌水道を支える人材の育成	1
5 エネルギーの効率的な活用	○環境に配慮した事業運営の推進	352
	(豊平庁舎 太陽光発電、平岸配水池 水力発電)	

配水管延長と耐震化率	
R2末総延長(前年比)	6,059.3km(+16.0km)
R2末耐震管延長(前年比)	1,921.4km(+98.9km)
R2末耐震化率(前年比)	31.7%(+1.5ポイント)

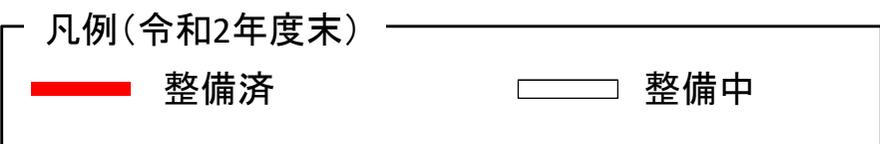
5 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
1 水源の分散配置と水質の安全性の向上	○ 豊平川水道水源水質保全事業	1,947

【事業内容】

豊平川上流域における水質悪化の要因(自然湧水に含まれるヒ素など)を、水道原水から取り除くため、バイパス水路を用いて白川浄水場取水地点の下流にバイパス・放流し、より良質な水を浄水場で取水可能にする。



5 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
1 水源の分散配置と水質の安全性の向上	○ 石狩西部広域水道企業団への参画	654

【事業内容】

水源の約98%を依存する豊平川以外に安定した水源を確保し、分散配置するため、当別ダムを水源として水道水を供給する石狩西部広域水道企業団に参画し、受水に向けた運営に協力する。



令和2年度:当別浄水場浄水池増設
送水管新設

5 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	○ 白川浄水場改修事業	82

【事業内容】

耐震性能が不足しているとともに経年劣化が進んでいる既存浄水場を段階的に改修する。改修は既存浄水場の運転を停止して行う必要があり、停止時に低下する浄水場の能力を補うための新たな浄水場を先行して整備する。

令和2年度:実施設計

(新沈砂池、新浄水場、新取水施設)



5 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	○ 西野浄水場等耐震化事業	505

【事業内容】

地震による浄水場等の被害を最小限に抑えるため、耐震性能が不足している浄水施設の耐震化を行う。

【西野浄水場の耐震化工事】

浄水施設の耐震補強

一補強内容(西野浄水場)一

- 鉄筋挿入によるせん断補強

コンクリート内に鉄筋を差し込んでせん断破壊に対し抵抗させる

せん断破壊



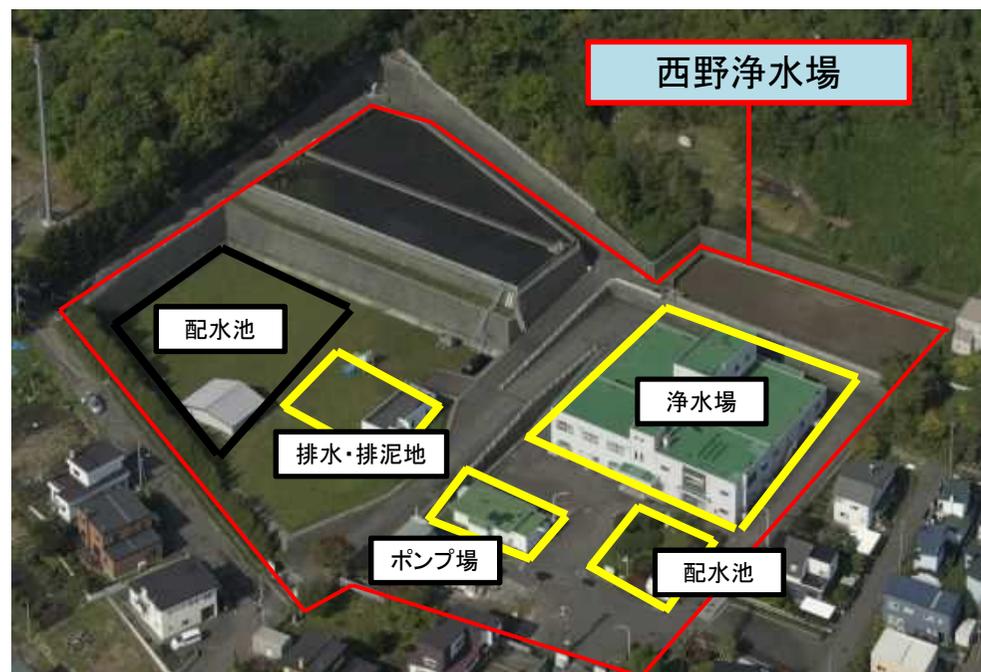
せん断補強



せん断補強
施工状況



鉄筋挿入



: 施工箇所

5 主要事業の概要

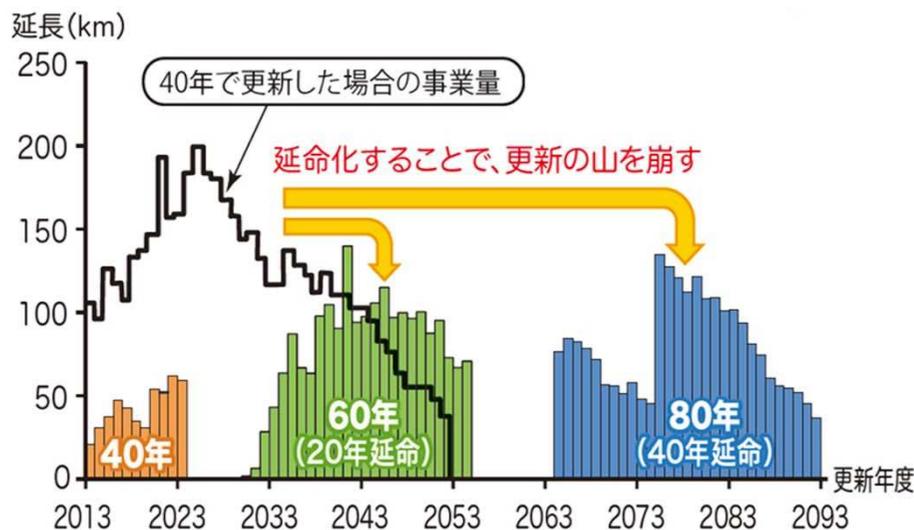
(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	○ 配水管更新事業（第1期）	6,719

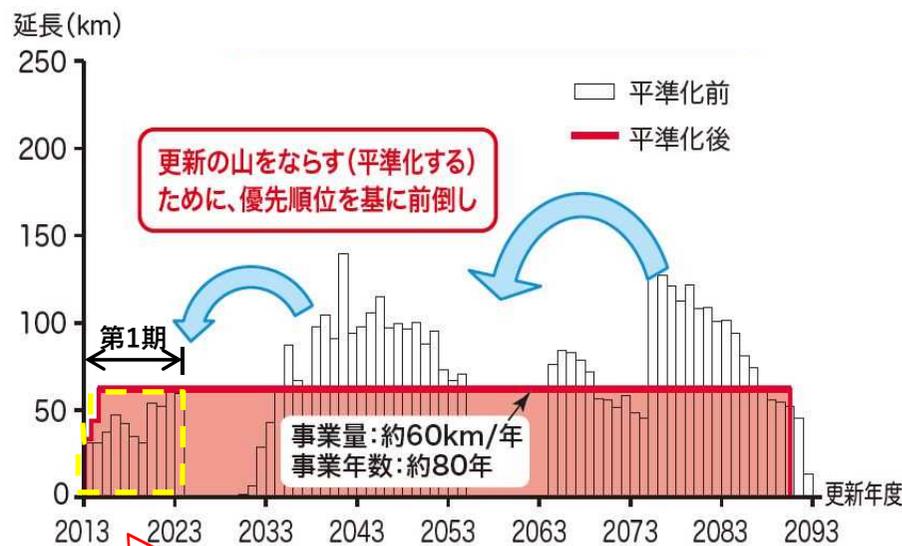
【事業内容】

市内には約6,000kmにも及ぶ配水管が布設されており、その更新は計画的に行っていく必要がある。このうち、総延長の約8割を占める口径75～350mmの配水枝線の更新計画を策定し、延命化と事業量の平準化を図りながら効率的に更新を実施する。平成30年に発生した北海道胆振東部地震を受けて、令和2年度からは管の継手部分が抜け出しやすい地盤があることも重視して配水管の更新を行う。

【配水管更新計画の考え方】



管路の延命化イメージ



事業量の平準化のイメージ

令和2年度:約58km更新

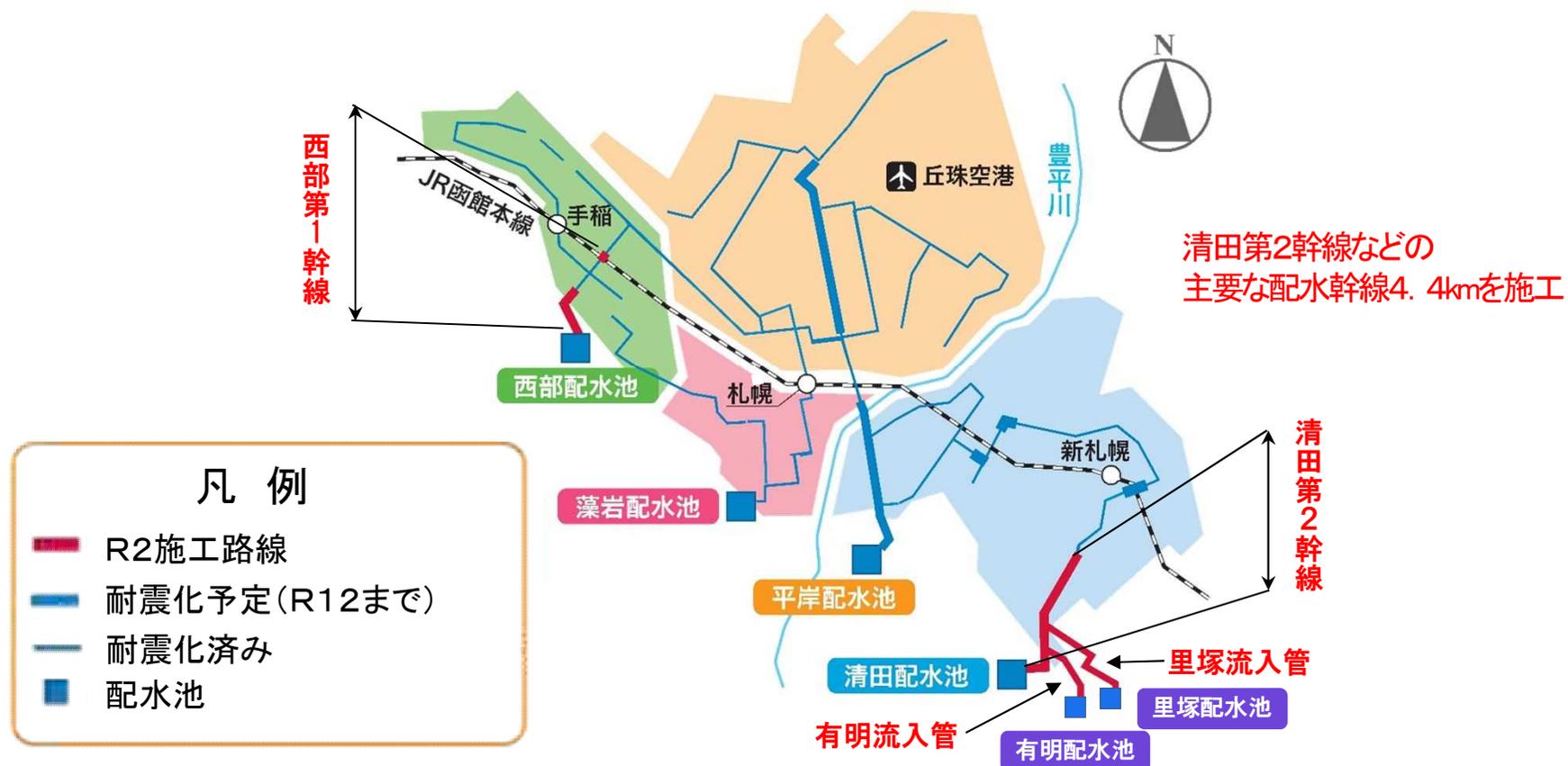
5 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	○ 配水幹線連続耐震化事業	2,429

【事業内容】

4つの基幹配水池(平岸、藻岩、西部、清田)からそれぞれの配水区域末端までをつなぐ基幹となる配水幹線を切れ目なく耐震化し、災害時においても配水を可能とする。



5 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	○ 災害時重要管路耐震化事業	767

【事業内容】

災害時における重要施設である医療機関や小中学校などの指定避難所(基幹)へ向かう配水管の耐震化を行う。



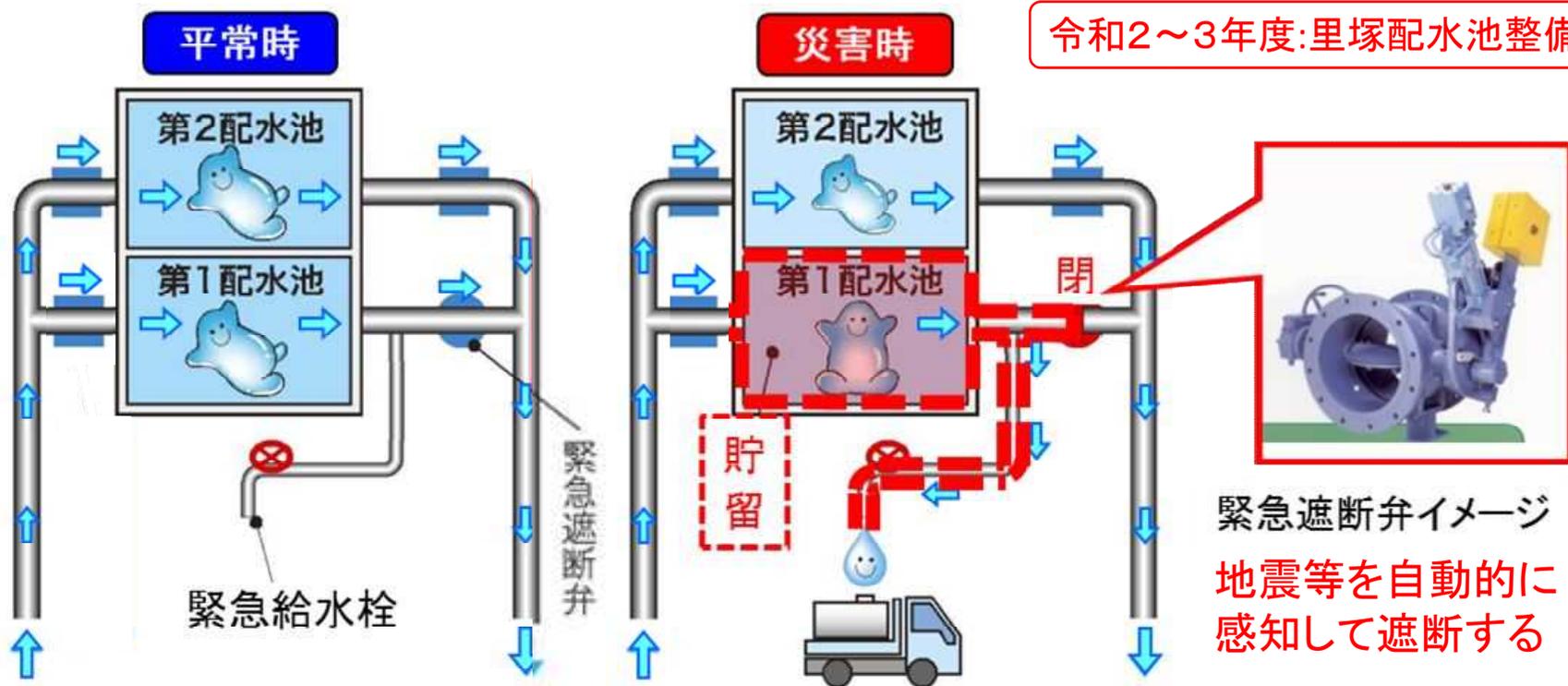
5 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	○ 緊急遮断弁整備事業（里塚配水池）	29

【事業内容】

地震などにより配水池下流の管路が被害を受けた場合に、配水池の出口で管路を遮断し、配水池内の水を流出させずに確保するための緊急遮断弁を整備する。



5 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

重点取組項目	主な事業	事業費
2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化	○ 業務継続性の確保（水道局庁舎、白川浄水場）	120

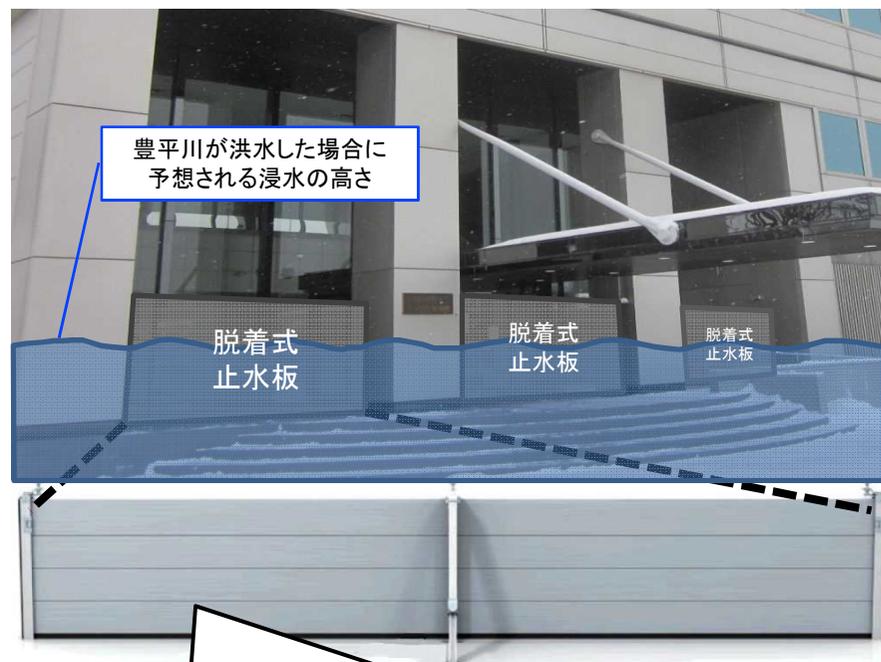
【事業内容】

北海道胆振東部地震時の停電を踏まえ、水道局庁舎(新琴似庁舎、八軒庁舎)へ非常用発電機を整備を行った。大雨による浸水等の影響を軽減するため、白川浄水場における浸水対策実施に向けた設計業務を行った。

【非常用発電機】新琴似庁舎、八軒庁舎



【浸水対策】白川浄水場



● 脱着式止水板 (イメージ写真)

脱着式止水板は、豊平川の洪水が予想される緊急時のみ設置し、平常時は空きスペースに保管する予定。